

# 令和4年度事業報告

## 1. 事業概要

新型コロナウイルス感染症対策による状況が3年連続となり、経済活動は勿論のこと富良野市シルバー人材センター事業にも大きな影響を及ぼすこととなりました。

コロナ感染症対策による観光業の減少や農作物等の生産調整など様々な分野での厳しい情勢となりましたが、請負事業では受注件数1,158件、前年度1,110件、受託額8,460万円、前年度8,348万円、件数48件、受託額112万円の増額となり、派遣事業では受注件数66件、前年度41件、受託額1,690万円、前年度1,344万円、派遣金額では346万円の増額となり、若干ではありますが前年度を上回る実績となりました。

入会会員数は前年度の171名から175名となり4名の増加を図ることができましたが、目標数の200名には至っておらず大変厳しい現状が毎年継続されております。

又、就業率が77.7%と前年度を7.7%下回り、80%台を切ることになりこれについても大変厳しい数値となっておりますが、会員皆様にはコロナ禍の中であっても就労して戴き誠に感謝申し上げますと共に発注者並びに各関係機関の皆様にご理解ご協力を戴いたことに厚くお礼申し上げます。

令和4年度事業実績比較表

区分		令和4年度	令和3年度	差引増減数	増減率(%)
受託事業	正会員数(人)	175	171	4	2.3
	祖入会率(人)	2.07	2.02	0.05	2.4
	就業率(%)	77.7	85.4	△7.7	△9.1
	受注件数(件)	1,158	1,110	48	4.3
	就業延日人員数(人)	12,750	12,420	330	2.7
	受注金額(万円)	8,460	8,348	112	1.3
派遣事業	受注件数(件)	66	41	25	60.9
	就業延日人員数(人)	3,367	2,856	511	17.9
	派遣金額(万円)	1,690	1,344	346	25.7
受注総額(万円)		10,150	9,692	458	4.7

## 2. 事業実施状況

### (1) 会員の拡大

- ① 「一人一会員入会活動」を始め、毎月の高齢者就労相談日の開設や自主事業においての入会促進活動に努めました。
- ② ホームページのリニューアルを行い、市広報誌による女性会員就労特集記事の記載に努め、新聞等による宣伝活動も実施いたしました。

## (2) 就業開拓と受注拡大

- ① 役職員による顧客訪問を閑散期の12月・1月に実施し、顧客ニーズを取り入れた訪問活動を行いました。
- ② 安全・安心・信頼を基本とした就業体制による開拓は、物損事故等の多発により実現できませんでしたが、信頼回復に向けた対策を講じて就業開拓に努めてまいります。

## (3) 就業率と技能向上

- ① 就業率においては前年度を下回る結果となりましたが、就業延日人員数は前年度の対比率として2.7%増となりました。
- ② 技能向上につきましてはコロナ禍の中ではありましたが、刈払機による安全衛生講習会及び指定管理事業職員並びに受付会員による普通救命講習会の開催を実施いたしました。

## (4) 安全就業の徹底

安全就業では、「健康・安全第一」を基本としながら健康促進講習会の開催と安全就業委員会が中心となる安全パトロールの実施、又、役職員による特別パトロールも行い安全就業に対する意識向上に努めましたが、刈払機作業での物損事故9件、他1件と厳しい発生状況となりました。

## (5) 適正就業の推進

会員・発注者には臨時的・短期的・軽易的な就業機会の確保に努めると共に適正就業ガイドラインの遵守に努めました。

## (6) 独自事業の拡充

コロナ禍ではありましたが、独自委員会が野菜等の生産に取り組み、市民との交流の場として、10月第3日曜日に「第14回ふれあい生き生きフェア」の開催を図り、小規模ながら会員独自の生産野菜や小物類の販売も行い市民との交流とPR活動に努めました。

## (7) 指定管理事業の推進

指定管理事業については、1年目の事業となりましたが市民の交流の場としてより一層深めていただくために年齢層に関係無く、多種多彩なワークショップを自主事業として年6回開催し、多くの市民に参加をいただきました。

## (8) ボランティア活動と会員の親睦・交流の推進

非営利団体の活動として、会員自ら自発的な意思に基づき、よりよい地域社会づくりに参加することが出来ました。

- ① 4月16日(金) 役員職員によるワインロードの清掃 25名参加
- ② 4月22日(木) 会員による主要公園、観光道路、公共施設等の清掃 70名参加  
市担当課 3名参加

- ③ 10月5日(水)北の峯学園に手縫い雑巾200枚寄贈 役職員 5名参加
- ④ 「富良野シルバー親睦会」は、感染対策を図りながらの活動となり、会員同士が親睦・交流を更に深めることが出来ました。

### (9) 組織体制と財政基盤の強化

令和4年度からの指定管理事業では、新たに組織体制を設置し、各担当役職員の配置を行い事業の安定強化を図りました。

財政基盤の補助金は安定した確保に注力し、適正かつ効率的な経費節減にも努め、また、公共事業の発注等は市に支援要請を行い、受注・就業拡大の安定供給化を図り、円滑な運営に取り組んでまいりました。

### (10) 関係機関との連携強化

富良野市をはじめとする、その他関係機関と連携しつつ、コロナウイルス感染症の中ではありましたが、役職員によるオンライン会議や研修等に積極的な参加を行い、事業の連携強化に努めました。

### (11) 中期計画の推進

31年度策定の「第1次中期計画」5年目の最終期となりますが、コロナ禍によって大幅な変更が余儀なくされ、総体的な目標達成には至っておりません。

第2次中期計画にあたっては、第1次中期計画を踏まえて拡充した策定計画を図りたいと考えます。